

腎・膠原病内科

腎・膠原病内科：1年次必須研修および2回目の選択研修

指導医：指導医の資格のある医師

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医師
臨床経験7年以下の医師

指導者：南7階病棟の看護師長，透析室の看護師，内科外来の看護師

●一般目標（GIO）

地域医療の中心を担い全人的医療を行う医師を目指すために，全科にわたって必要な腎臓内科および膠原病内科の診療に求められる基本的知識・臨床応用能力・態度を習得し，各専門的医療に進むための基礎を築く。

●行動目標（SBOs）

- ・ 患者および家族との信頼関係を確立することができる。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解し，その中で指導医，上級医とともに医師としての役割を果たすことができる。
- ・ 腎臓病および膠原病の病態生理を理解できる。
- ・ 問診・身体診察を含む非観血的診断スキルを身につけ，総合的診断能力を養う。
- ・ 腎病理，腎生理ならびに血行動態を規定する因子を理解し，腎臓病治療に必要な薬剤が及ぼす作用を理解する。
- ・ 膠原病の病態を規定する因子を理解し，膠原病治療に必要なステロイドや免疫抑制薬などの薬剤が及ぼす作用を理解する。
- ・ 腎臓病・膠原病の初期診断および治療に必要な知識・技術を習得し，救急医療で求められる迅速な判断・対応を身につける。
- ・ EBMに基づく腎臓病・膠原病医療を行うための情報収集・技術講習を通じ，積極的に自己啓発に努めることができる。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解・自覚し，地域チーム医療としての病院連携を図ることができる

●方略

<病棟業務>

- ・ 常時3～5名程度の患者を指導医・上級医とともに担当する。
- ・ 担当患者の問診および身体所見をとり，指導医・上級医とともに検査計画，治療計画を立てる。
- ・ 担当患者の画像検査（超音波検査，CT，MRI），病理検査（腎生検，皮膚生検）など各種検査にできるだけ付き添い，検査を見学および状況に応じて指導医のもとで実践する。
- ・ 透析療法や中心静脈ルート確保の手技を指導医・上級医のもとで段階を踏んで経験す

る。

- ・ 指導医・上級医とともに必要な生活指導を入院患者およびその家族に行い、診療内容・説明内容をカルテに記載する。
- ・ 担当患者に関わる書類(他院への診療情報提供書, 入院証明書など)の作成を経験する。

<外来業務>

- ・ 内科外来にて、一般内科、腎臓病および膠原病の初診患者・再診患者に対する問診および身体所見をとり、指導医・上級医とともに検査計画、治療計画を立てる。

<救急業務>

- ・ 担当患者の急変に対しては、指導医・上級医とともに、直ちに対応する。ただし時間外の急変については、業務過多にならないように指導医・上級医とあらかじめ相談しておく。
- ・ 平日日勤帯の救急患者に関しては、救急搬送時において、救急外来で指導医・上級医とともに対応する。ただし時間外の救急搬送については、業務過多にならないように指導医・上級医とあらかじめ相談しておく。

<コンサルテーション>

- ・ 他の診療科からのコンサルテーションに対して、指導医・上級医とともに対応する。
- ・ 担当患者が他科受診を必要とする際には、指導医・上級医の指導のもとで院内紹介状を記載する。

<カンファレンス>

- ・ 毎週の腎・膠原病内科患者カンファレンスに参加する。
- ・ 入院患者の退院前カンファレンスや他職種カンファレンスに参加する。

<勉強会>

- ・ 定期的に行われる内科の抄読会に参加する。なお、臨床研修医は内科系ローテート研修中に必ず1回は抄読会を担当する。

<研究会・学会・学術活動>

- ・ 研究会・学会に指導医・上級医とともに参加し、必要に応じて発表する。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
8:30	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
～	外来研修	透析	透析	透析	透析
12:30	(一般内科)	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
13:30	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
～	透析	透析	透析	透析	透析
16:30	患者 C.C. (14:30～)	腎生検	救急研修		救急研修
17:00		内科抄読会			
～		(月 2 回)			

●評価

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者（南7階病棟の看護師長、透析室および内科外来の看護師）が行う。
- ・ 研修医からの評価も必ず施行する。

●参考資料

<研修内容>

腎臓内科

1. 臨床検査の実施と評価
 - 1) 血液および尿検査：特に腎機能，尿蛋白量，電解質，酸塩基平衡の評価
 - 2) 腎臓の画像検査（腎臓超音波，腹部CT）
2. 一般的治療（腎臓病）
 - 1) 薬物療法：ステロイド・免疫抑制薬，降圧薬などの選択・管理
 - 2) 生活指導（特に腎臓病の食事指導）
3. 専門的検査および治療
 - 1) 腎生検：光顕，免疫蛍光抗体法，電顕所見
 - 2) 透析療法：急性血液浄化療法，維持透析（血液透析・腹膜透析）
アフェレシス療法

膠原病内科

1. 臨床検査の実施と評価
 - 1) 血液および尿検査：特に免疫学的検査の評価
 - 2) 画像検査：特に膠原病の臓器病変に関する画像所見の評価
2. 一般的治療（膠原病）
 - 1) 薬物療法：ステロイド・免疫抑制薬，抗リウマチ薬などの選択・管理
 - 2) 生活指導（特に感染症予防に関する指導）